



地球のかおり

カナディアン・ロッキーの旅、
バンフとジャスパーの中間地点で
旅の女神がほほえんだ。天空に見
事なまん丸お月様。危険な夜道に、
われを忘れて立ちすくんだ。言い
訳を少し。このときは三脚もなく
カメラも軽量機だったので、肉眼

目は最高のレンズ

で見る月の美しさには及ばない。
ご容赦を。こうこうと雪とともに
山肌が光り輝いているその光景、
空気分。感動なのか、寒さなのか、
ブルッときた。冥土の世界のよう
にも見えた。

(夢絵作家 久楽迎古)

<http://kuraku.jp>

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

タイトルといい、文章も、やり直しや、削除とはいかない。
上記、文字数も限られている。毎週のことだった。今は、いい思い出、心の財産。
下書きには、いろいろ書いている。懐かしい。



対象が思い通りにいかない。**主役は大自然**。私は黒子。
思い通りにいかないのは、百も承知。それでも、目撃の瞬間を、画像記録に残したい。
ビジネス経営の体験者。計算通りにはいかない。感性、構図、直感。
失敗を重ねたから、学び、その次は、成功できるとも、経験上、思っていない。
たかが一枚の画像、しかし、私には、思い入れがある。
まさに、独りよがり、現場での感動の体感。伝えるのが難しいが・・・
何かが、伝われば、喜びであり、嬉しい。

初対面の感動のボルテージは、格別。瞬き、瞬間である。
その後は、冷静に画像記録。しかし、詳細に見ると、対象の変化は、早い。
私のいる位置も微妙な場所。早朝の格闘。至福の素敵な時間だった。
まさに、ラッキー、スマイル、オン、ミー。